

施策の具体策を示すことが必要だ！！

八地申
第26号

「電気部門の変革2022」に関する説明申し入れ

八王子地本は、2月5日に支社より「電気部門の変革2022」の提案がされ「設備のシステムチェンジ」「スマートメンテナンス」「工事の機械化・効率化」を3本柱とするメンテナンス業務等を変革し、安全をベースに「技術的な判断業務に注力する」働き方を実現するという内容です。

現在職場では「設備メンテナンス体制の改善」および「設備メンテナンス体制の再構築」施策以降、宮ノ平駅構内の転落死亡事故、列車の待避誤りが発生し、他支社においても、黒磯感電事故や碍子の原因による漏電火災による輸送障害、電架柱の倒壊など重大インシデントや設備に起因する大規模な輸送障害が多発しています。職場における安全第一主義は崩壊に向かっていると行って過言ではありません。そのような中、国鉄採用のベテラン社員の大量退職により、技術継承・技能伝承は待たなしの状態であり、今施策において、モニタリングの精度や試行導入に向けたスケジュールなど不明確な点が多く、今後の電気部門の将来像をどのような展望へ持っていくのか喫緊の課題です。

したがって、これまでの施策の課題を明確にしていくことによって、新たな施策を、更に安全で高い輸送品質を支える電気部門にしていかななくてはなりません。

安全で輸送品質が向上する健全な施策とするために、下記のとおり申し入れますので真摯な回答を要請します。

記

1. 今施策の導入目的と、「変革2022」における電気部門の将来像を明らかにすること。
2. メンテナンス体制の再構築及びメンテナンス体制の改善の成果と課題を明らかにすること。
3. メンテナンス体制の再構築及びメンテナンス体制の改善など、地方交渉で合意してきた議事録確認について、今施策においてどのように履行するのか明らかにすること。
4. 今施策において、標準数を削減できる根拠を明らかにすること。
5. これまでの工事制度の成果と課題を明らかにし、工事制度の変更点及び教育について明らかにすること。
6. 積算・契約業務について成果と課題を明らかにし、今施策において効率的な業務体制となる根拠を明らかにすること。
7. 「設備のシステムチェンジ」「スマートメンテナンス」「工事の機械化・効率化」の実施について具体的なスケジュール及び内容を明らかにすること。

「電気部門の変革2022」に関する説明申し入れ提出！

安全のため5年後を見据えて、 職場からたたかいを創り上げよう！